

記者発表

9 月 11 日低気圧の影響に伴う出水における 北上川上流域のダムの治水事業効果について(速報) ～胆沢ダム管理移行後最大の洪水量を溜め込む～

低気圧に伴う降雨の影響で、北上川ダム統合管理事務所の管理する胆沢ダムでは、**管理移行後最大の流入量 764 m³/秒を記録し、ほぼ全量(最大 2,283 万 m³ 東京ドーム 18.4 杯分に相当)をダムに溜め込みました。**御所ダムでは 572 万 m³(東京ドーム 4.6 杯分に相当)、湯田ダムでは 802 万 m³(東京ドーム 6.5 杯分に相当)をダムに溜め込み、下流河川の洪水低減に寄与しました。

また、各ダムでは上流から流れ着いた流木等を捕捉し、被害軽減に貢献しております。

気象状況によっては、ダム放流量がさらに増加する場合がありますので、今後の情報に注意してください。

・ 9 月 11 日 14:00 現在の所管ダムの状況 (各数値は速報値です)

	流域平均 総雨量 (mm)	最大流入量 発生日時	最大流入量 (m ³ /秒)	最大流入時 放流量 (m ³ /秒)	溜め込んだ 水の総量 (万 m ³)	東京ドームの 容積相当 (杯分)
御所ダム (放流中)	84	11日 6:10	544	138	572	4.6
湯田ダム (放流中)	102	11日 5:30	535	248	802	6.5
胆沢ダム	191	11日 3:20	764	4	2283	18.4

※東京ドームの容積 (124 万 m³)

※ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。

ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

<岩手県政記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所

副所長(管理) 菅原 裕彦

調査課長 富岡 繁則

TEL 019-643-7831 (代表)

胆沢ダムの治水事業効果について ～管理移行後最大の洪水量を溜め込む～

平成27年9月11日（低気圧）

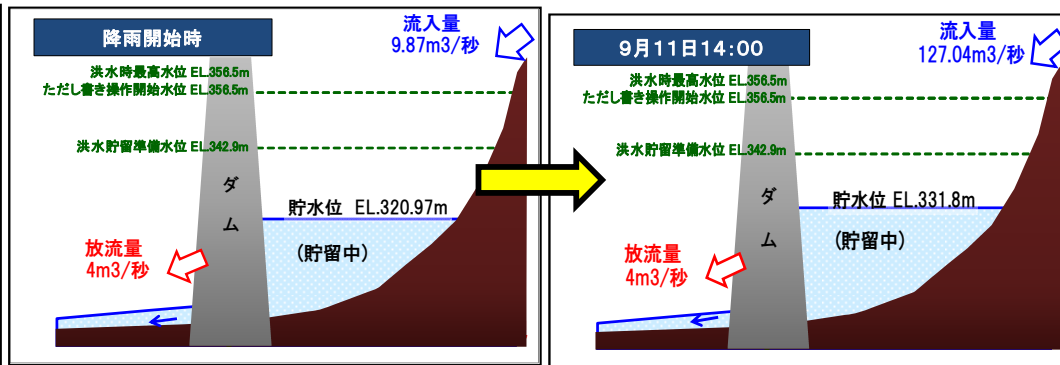
- 今回の洪水で**管理移行後最大の流入量764m³/秒**を記録しました。
- これは、観測データのある1954年(S29)年以降、62年間で6番目になる流量です。
- ダムに溜めた量は、ほぼ全量の2283万m³(東京ドーム18.4杯分)です。
- ダム貯水位が**10.83m上昇**しており、上昇分の洪水量を溜めました。
- 最大流入量(9/11 3時20分)の内760m³/秒をダムに溜め込みました。
- 水位低下効果として、胆沢川橋で**1.19m程度川の水位を低下**しました。

(9月11日 14:00現在)

■位置図



■ダムに水を貯めている状況図

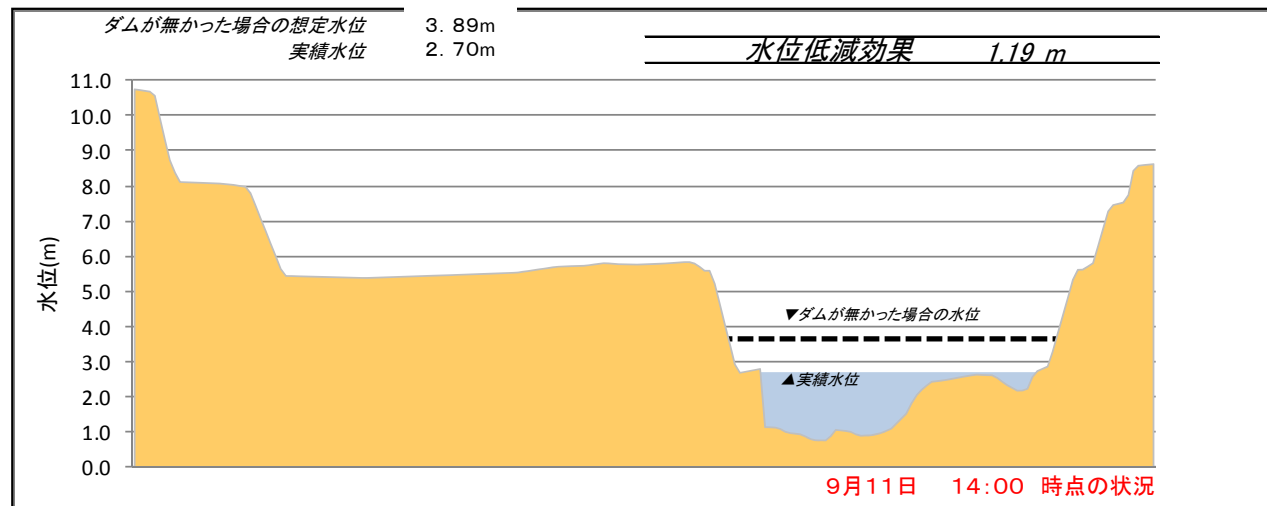


■胆沢ダムの状況

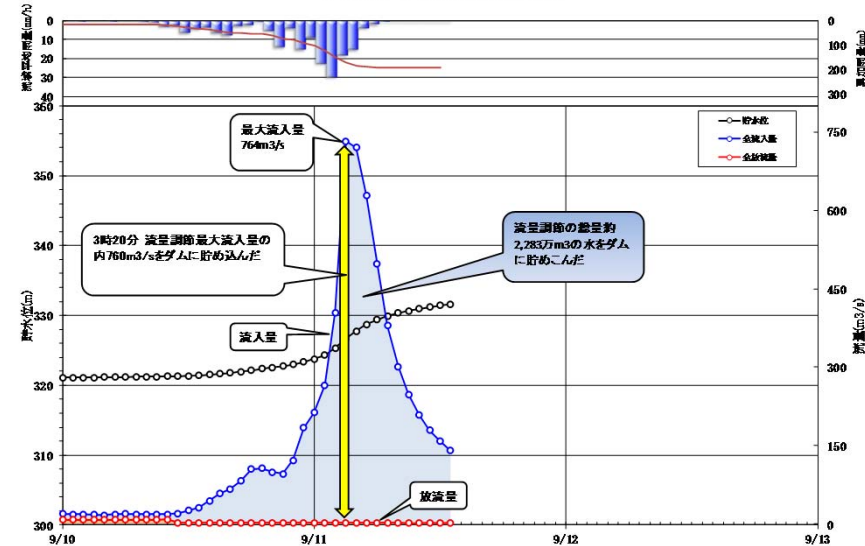


■胆沢ダム流入河川流木

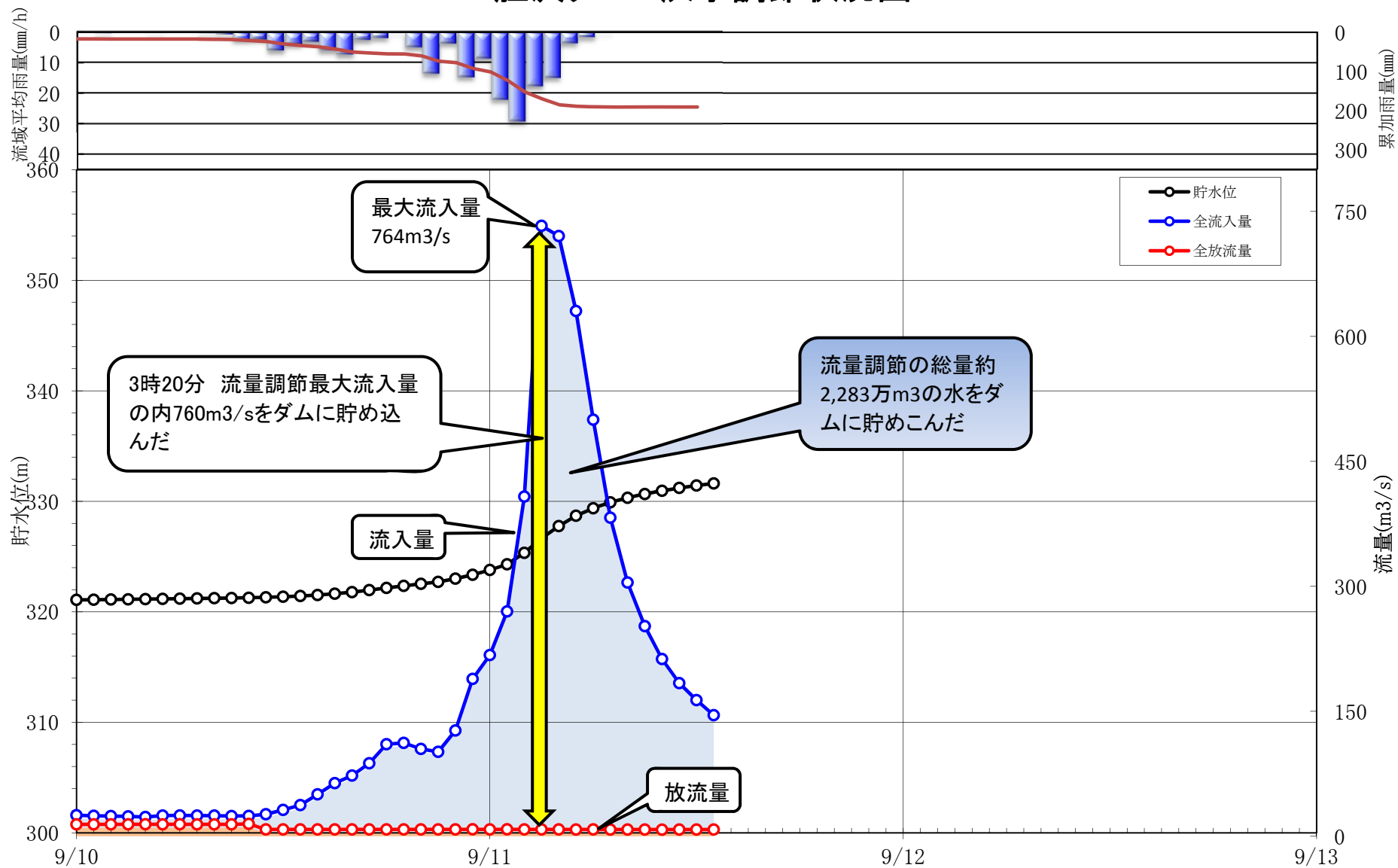
■胆沢川橋付近における水位低下効果図



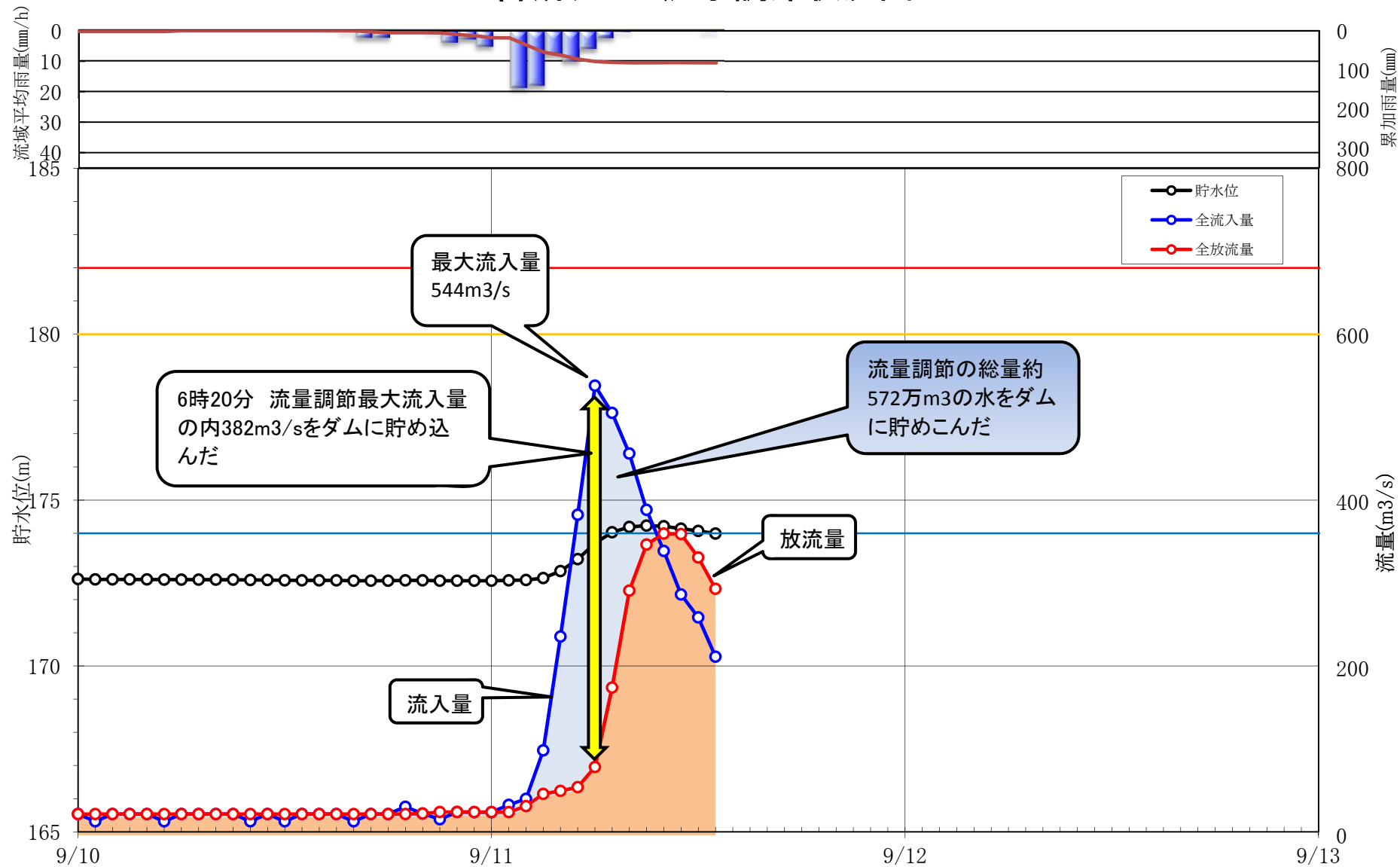
胆沢ダム 洪水調節状況図



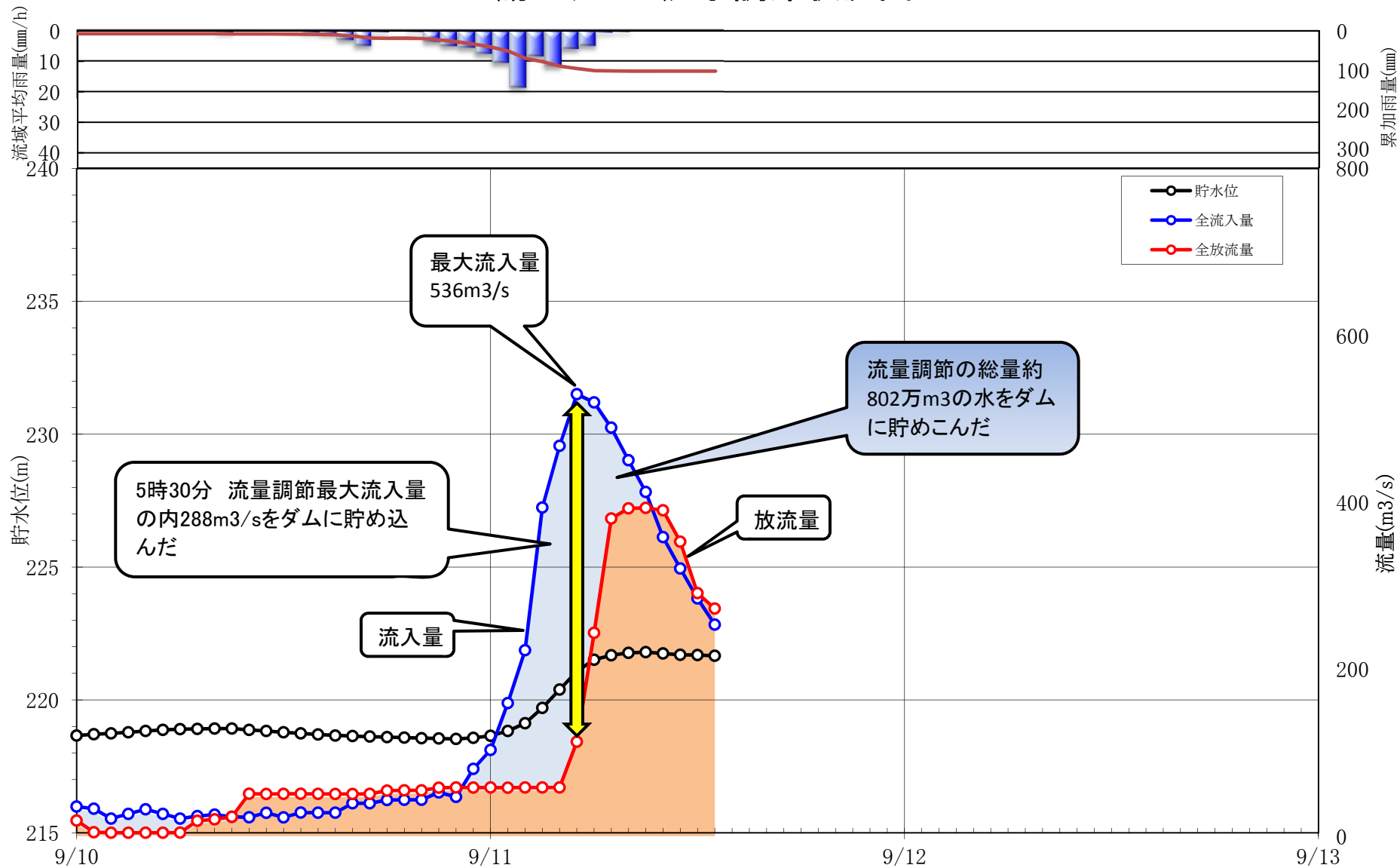
胆沢ダム 洪水調節状況図



御所ダム 洪水調節状況図



湯田ダム 洪水調節状況図



北上川上流域のダムの効果（平成27年9月11日 低気圧）



胆沢ダム湖面の流木



胆沢ダム流入河川からの流木



矢川流況(御所ダム管内)



南園地漂着塵芥(御所ダム管内)



湯田ダム流木捕捉状況

